

次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

次世代がん医療を担う 多職種人材養成プラン

令和6年度 事業報告書・がんプロ大学院募集要項

CONTENTS

ご挨拶	P2
がんプロ養成コースの紹介	P3
今年度の事業実績	P6
受講者の声	P13
編集後記	P15



東京歯科大学大学院
歯学研究科

ご挨拶



一戸 達也

東京歯科大学
学長

第4期がんプロフェッショナル養成プラン（がんプロ）の取り組みである「次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン」が始まって約2年が経ちました。昨年度は文部科学省の補助金事業としての第4期がんプロが開始された年であったため、採択に向けての申請書類やコース開講の準備に追われた1年でした。今年度はいよいよ事業が本格的に動き出した年となりました。東京歯科大学は、主幹校である東京科学大学（旧東京医科歯科大学）、慶應義塾大学、国際医療福祉大学、東海大学、順天堂大学、東京薬科大学と連携を組み、チーム医療が実践できる多職種のがん専門医療人の養成を目指しています。7大学で適切に連携を図りながら、本学大学院における次世代がん専門医療人の養成に注力いたします。本事業報告書を通して令和6年度の活動を総括し、今年度に達成できた部分、未達の部分を自己評価いただき、次年度に改善すべき点を明確化してさらに発展していただきたいと思います。

歯科医学における教育カリキュラムは時代の要請に合わせて進展・多様化しています。歯学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版でも様々な改訂が加えられました。従来からの一般的な歯科医療の提供に加えて、超高齢社会の中で活躍できる知識と技能を具備した次世代の歯科医師の養成が望まれています。この中では、がん教育は極めて重要な項目だと考えます。口腔がんを含め、あらゆるがん患者に対する歯科的対応能力の向上が求められていますので、本事業の推進を通じてこのような次世代の歯科医師の養成を目指してまいります。卒前教育から大学院教育を含む卒後教育まで、切れ目なくサポートをすることが本学の使命であると考えています。本事業を通じて国民の期待に応えるべく、これからも活動してまいりますのでご支援をいただけると幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。



齋藤 淳

東京歯科大学
大学院歯学研究科研究科長
事業総括（事業責任者）

本学の大学院歯学研究科に「がんプロフェッショナル養成プラン（通称がんプロ）」コースが設置されたのは平成20年で、第1期、第2期そして今回の第4期の文部科学省事業に参加しています。第4期がんプロの初年度が開講し、多くの大学院生に入学していただきました。次年度からは、いよいよ本格的なコースワークの履修が始まります。がんプロの大学院生は、研究活動で学位（博士）を取得するだけでなく、専門性を生かした人材となるべく、臨床や医療チームへの参加など、さまざまな学際的活動を行う必要があります。こうした活動を通して社会に応える医療人として成長していかなければなりません。がんプロ大学院生の入学者数やインテンシブコースの履修者数だけでなく、がんプロを卒業してからの個々の活動が真に価値のある実績ということになります。その意味では、まだ事業半ばということでこれからの益々の発展を期待しています。

さて、本学大学院はこれまで基礎と臨床を通じて歯科医学の発展に貢献してまいりました。細菌学や衛生学、保存学、補綴学そして口腔外科学など様々な分野で多くの実績を残し、国民の健康増進を担うスペシャリストを輩出してきました。本学大学院のアドミッションポリシーとして、「既成の価値観にとらわれず、自ら問題を発見し、解決しようとする力を備えている人材」を挙げています。がん医療に貢献できる人材育成のために用意されている研究分野は多岐に及びます。このような歯科の実情を是非、医師をはじめとする多くの医療職にご理解いただき、大きな連携の枠組みに歯科を活用してほしいと思います。皆様におかれましては本報告書を是非ご一読いただき、事業活動の内容やその目的について理解を深めていただきたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

がんプロ養成コースの紹介

がん対策推進基本計画では

「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」ことを目標とし、基盤整備の一つとして「人材育成の強化」を推進しています。

次世代のがんプロフェッショナル養成プランは、

がん専門医療人材を養成する拠点を、大学間連携により形成することを目的としています。

次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン

(申請校:東京医科歯科大学)

首都圏7大学の連携

慶應義塾大学
順天堂大学
東京科学大学
東京歯科大学
東京薬科大学
東海大学医学部
国際医療福祉大学

本事業の特色

がん患者を誰一人取り残さない!

14 のワーキング
グループ(WG)

多くの連携校
共通コース

多職種連携の
指導

データサイエンスの
教育

患者団体との
密な連携

次世代のがんプロフェッショナル養成プラン(令和5 ~ 10年度)

事業概要

- ・医療現場で顕在化した課題への対応
- ・がん予防の推進
- ・新たな治療法の開発

本プランの目的

- ・痛みの治療・ケア、がん学際領域等を担う人材の養成
- ・医療ビッグデータに基づくがんの予防医療を担う人材の養成
- ・個別化医療・創薬研究を担う人材の養成

自己完結型の診療スタイルから脱却し、
多職種による共通の目的意識を持った歯科医師の育成が求められる

在宅医療、介護、福祉サービス、医療費、病院機能の分化……

地域医療において多職種が集まり、医療体系の見直しをしている中、
包括医療の中に歯科医療を今後どう組み込むかが課題

超高齢社会における理想的な歯科医師像

- 地域のチーム医療の中で、歯科医師として提供できる医療知識
- 医療技術をまわりに伝え、連携を図ることができる

歯科医師の育成

令和6年度より開講

がんプロフェッショナル養成プラン正規課程3コース

▶ 口腔がん治療専門医養成コース（正規課程・修業年限4年）

養成すべき
人材像

口腔外科の特性を生かしながら

- ① 高度口腔がん診療を実践できる人材、
- ② 頭頸部外科との連携協力体制を構築できる人材、
- ③ 口腔がん早期発見の普及に貢献できる人材、
- ④ 口腔がん患者に対する療養生活の質の向上に向けた取り組みを実践できる人材を養成する。

▶ 顎顔面補綴専門医養成コース（正規課程・修業年限4年）

養成すべき
人材像

口腔がん・頭頸部がんの治療によって生じる形態・機能障害に対して
歯科的技能を応用した高度な顎顔面補綴治療やエビテーゼ治療によって
審美と機能の回復を図ることのできるスペシャリストを養成する。

▶ 支持療法専門医養成コース/

口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーション・栄養療法分野（正規課程・修業年限4年）

養成すべき
人材像

がん治療の支持療法として必要な

- ① 口腔機能・口腔衛生管理がおこなえる人材、
- ② 摂食・嚥下リハビリテーションや栄養学の知識を涵養し、
栄養サポートチームへ参画できる人材、そして、
- ③ 地域包括ケアシステムの中で終末期医療を含めたがん緩和の分野で連携し
リーダーシップをとれる人材を養成する。

東京歯科大学の実施体制、担当者一覧

氏 名	所属（研究科・専攻等）・職	事業における役割
齋藤 淳	大学院歯学研究科長・教授	事業総括（事業責任者）
片倉 朗	副学長	事業推進アドバイザー
澁川 義幸	大学院歯学研究科教務部長・教授	教育カリキュラム開発・編成担当（総括）
福田 謙一	大学院歯学研究科学生部長・教授	研修カリキュラム開発・編成担当（総括）
野村 武史	口腔がんセンター・センター長	事業推進プロジェクトリーダー コーディネーター担当（総括）
鈴木 大貴	口腔がんセンター・講師	口腔がん治療専門医コース担当者
中島 純子	オーラルメディスン・病院歯科学講座・准教授	顎顔面補綴専門医養成コース担当者
酒井 克彦	オーラルメディスン・病院歯科学講座・講師	支持療法専門医養成コース担当者
堂地 一利	口腔科学研究センター・事務主任	がんプロ事務担当
世木田 晋	口腔科学研究センター・事務主任	がんプロ事務担当

各コースの担当講座一覧

▶ 口腔がん治療専門医養成コース（正規課程・修業年限4年）

担当講座 ①口腔顎顔面外科学講座 ②口腔病態外科学講座 ③口腔腫瘍外科学講座

▶ 顎顔面補綴専門医養成コース（正規課程・修業年限4年）

担当講座 ①口腔顎顔面外科学講座 ②口腔病態外科学講座
③老年歯科補綴学講座 ④クラウンブリッジ補綴学講座
⑤口腔健康科学講座（摂食嚥下） ⑥口腔インプラント学講座
⑦口腔腫瘍外科学講座 ⑧オーラルメディスン・病院歯科学講座

▶ 支持療法専門医養成コース/ 口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーション・栄養療法分野（正規課程・修業年限4年）

担当講座 ①口腔顎顔面外科学講座 ②口腔病態外科学講座
③老年歯科補綴学講座 ④クラウンブリッジ補綴学講座
⑤口腔健康科学講座（摂食嚥下） ⑥口腔インプラント学講座
⑦口腔腫瘍外科学講座 ⑧オーラルメディスン・病院歯科学講座

大学院修了の履修要件

大学院共通科目

- 必修科目(主科目) 主科目(講義等)、大学院共通講義I(歯科専門分野)、大学院セミナー
- 選択科目 主科目以外の科目講義等、大学院セミナー
※主科目、選択科目をあわせて必修科目30単位以上を履修し、独創的研究に基づく学位論文を提出し、最終試験に合格すること。

がんプロ履修要件

- 研修コース 東京歯科大学口腔がんセンターおよび市川総合病院医科研修(2年)
- 国内留学 国立がん研究センター中央病院 ※3コース共通
- 連携大学共通インテンシブコース「口腔がん・がん口腔支持療法分野プログラム」の修了
- 連携校セミナー、WS、シンポジウムへなどへの参加：多職種横断テーマ(連携大学共通)
- ポートフォリオの提出：評価シート、担当症例報告、関連セミナーへの参加証明
- 原著論文1編 または 臨床研究論文3編(筆頭著者1編を含む)

今年度の事業実績 ① 2024年10月13日(日)

口腔がん早期発見事業 「第1回関東口腔粘膜疾患研究会」を 開催しました

■概要 日時 2024年10月13日
開催形式 ハイブリッド開催(現地+Webライブ配信)
会場 AP秋葉原4階Hルーム

■プログラム

【基調講演】

C型肝炎の視点で見る口腔扁平苔癬： 肝疾患精査の重要性

長尾 由実子(順天堂大学医学部公衆衛生学講座客員教授)



【講演】

1. 口腔扁平苔癬の包括的治療アプローチ

三邊 正樹

(東京歯科大学口腔腫瘍外科学講座)

2. 口腔扁平苔癬の鑑別疾患と診断

角田 和之

(慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室)

3. 口腔苔癬様病変の診断と治療

津島 文彦

(東京科学大学顎口腔腫瘍外科学分野)



今年度の事業実績 ② 2024年10月26日

がん征圧を目指すチャリティイベント 「リレー・フォー・ライフ・ ジャパン2024ちば」に がんプロチームとして参加しました

■概要 日時 2024年10月26日
会場 千葉県柏の葉公園 コミュニティー体育館

■イベント内容



リレー・フォー・ライフとは、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんに向き合い、がん征圧を目指すイベントで、1年を通じて取り組むチャリティ活動です。当日は、東京歯科大学がんプロ大学院生と教員（医師・歯科医師）が参加しました。



今年度の事業実績 ③ 2024年11月13日～20日

口腔がん啓発事業 「TDCレッド&ホワイトリボン キャンペーン2024」を実施しました

■概要 開催期間 2024年11月13日～20日「口腔がん検診の日（11月15日）」に併せて開催
場所 東京歯科大学市川総合病院



今年度の事業実績 4 2024年11月30日

市民公開講座

「お薬であなたの未来を変える
～がん治療薬とのつきあい方～」を
開催しました

■概要	日時	2024年11月30日
	場所	東京歯科大学市川総合病院 講堂
	開催形式	対面
	参加者	67名

2024年度がん診療連携拠点病院市民公開講座
～がんを知ろう！～

**お薬であなたの未来を変える
～がん治療薬とのつきあい方～**

日本人の2人に1人は「がん」に罹る時代です。つまり「がん」は誰でもかかる可能性に脅かされる病気でもあります。その病気を知る、私たちが「がん」について正確に知ることが出来る機会です。
「がん」治療の重要な柱のひとつに「薬物療法（いっしょにがんを治す薬）」があります。今回はがん薬物療法を通して、その副作用やがんとの付き合い方について医師が話します。ぜひご参加ください。

日時：2024年11月30日（土）10:00-11:30
場所：東京歯科大学市川総合病院 2階 講堂
(0272-6513千幕線市川市曹野5-11-13)
対象：どなたでもご参加いただけます
定員：100名 ※先着順となります
申込不要 無料

薬物療法室 室長・薬物療法科 医師 和田徳昭
「がんを知り、がんと向き合う 患者力のすすめ」
薬剤師 主任薬剤師 今井洋志
「副作用はもう怖くない!!～予防と悪化させないためのポイント～」
薬物療法室 看護師長 名執理絵
「あなたらしくイキイキと生活するために～脱毛ケアのポイント～」

東京歯科大学 市川がん医療を担う多職種人材育成プラン
主催：東京歯科大学市川総合病院
後援：市川市、市川市社会福祉協議会
東京歯科大学
市川がん医療を担う多職種人材育成プラン

7大学で取り組んでいる共通の課題・テーマ

01 がん医療の現場で
顕在化している課題に
対応する人材育成
02 がんの予防の推進を
行う人材育成
03 新たな治療法を開発
できる人材

東京歯科大学
市川がん医療を担う多職種人材育成プラン
東京歯科大学がんプロホームページ
<https://www.tbc-gimpro.jp/>



■内容

講演1 「がんを知り、がんと向き合う 患者力のすすめ」

医師 和田 徳昭(薬物療法科、薬物療法室 室長)

講演2 「副作用はもう怖くない ～予防と悪化させないためのポイント～」

薬剤師 今井 洋志(薬剤部 主任薬剤師)

講演3 「あなたらしくイキイキと生活するために～脱毛ケアのポイント～」

看護師 名執 理絵(薬物療法室 看護師長)

今年度の事業実績 5 2024年12月12日

がんプロ特別企画講演会 「口腔・顎顔面領域悪性腫瘍の 分子病理における現在」を 開催しました

■概要 日時 2024年12月12日
場所 東京歯科大学市川総合病院
開催形式 対面
参加者 37名

講師 森 泰昌
(国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院
病理診断科医長)

座長 野村 武史
(東京歯科大学口腔がんセンター)

令和6年度がんプロ企画
講演会

日時：令和6年12月12日（木）18：00-19：00

場所：東京歯科大学市川総合病院
歯科・口腔外科外来（対面開催）

口腔・顎顔面領域悪性腫瘍の
分子病理における現在

講師 森 泰昌（国立研究開発法人国立がん研究センター
中央病院 病理診断科医長）

座長 野村武史（東京歯科大学口腔がんセンター）

WHO頭頸部腫瘍分類第5版が2024に発刊された。これらに収載されている様に口腔顎顔面腫瘍病理学に数多くの進展があり、固有の難問をさらに複雑にしている。新しい病態・病因となる分子変化が発見され、診断分類スキームの大きな転換が提案されている。本講演では、分子診断技術における最近の進歩に加えて国立がんセンター中央病院で取り組みについても供覧する。

主催：次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン
「口腔がん・がん口腔支持療法に携わる医療者養成コース」

森 泰昌

国立がん研究センター中央病院 病理診断科・研究所 分子病理分野 医長
東京歯科大学口腔がんセンター 客員教授



国立がん研究センター中央病院・研究所は、東京歯科大学次世代のがんプロフェッショナル養成コースの国内留学先としての活動を開始いたしました。私は当センターでの研修カリキュラム作成と運営をコーディネートいたします。令和6年度は大学院生等を対象とした講義を行いました。令和7年度は当センター頭頸部外科・内科、放射線治療科・診断科、歯科、病理診断科研修を予定し、大学院生の受け入れを開始いたします。

今年度の事業実績 6 2025年2月27日

がんプロ特別企画討論会 「公開討論：口腔がん教育と 専門医の育成について ～がんプロって何?～」を 開催しました

- 概要
- 日時 2025年2月27日
zoom配信／(web参加のみ)
- 対象 卒前学生、卒後研修歯科医、
歯科衛生士、歯科医師
- 開催形式 ハイブリッド開催(現地+Webライブ配信)
- 参加者 60名



■プログラム

特別講演 松浦 成昭(大阪国際がんセンター総長・全国がんプロ協議会顧問)

講演1 片倉 朗(東京歯科大学口腔病態外科学講座教授)

講演2 杉浦 剛(東北大学顎顔面口腔腫瘍外科学分野教授)

講演3 三浦 雅彦(東京科学大学歯科放射線診断・治療学分野教授)



今年度の事業実績 ⑦ 2025年3月10日

がんプロ特別企画講演会 「顎関節症のベーシック治療」・ 「地域で行っている口腔癌早期発見の ための個別検診」を開催しました

■概要	開催	2025年3月10日
	場所	東京歯科大学市川総合病院 講堂
	開催形式	対面
	演者	内田 貴之（日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座教授） 野村 武史（東京歯科大学口腔がんセンター）
	参加者	67名



令和6年度講演会

日時：令和7年3月10日（月）19：00-21：00
場所：東京歯科大学市川総合病院講堂（対面開催）

顎関節症のベーシック治療

講師 内田貴之（日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座教授）
座長 石井広志（石井歯科医院・横浜市歯科医師会会長）

特別発言
地域で行っている口腔がん早期発見のための個別検診
講師：野村武史（東京歯科大学口腔がんセンター）

顎関節症の診療ガイドラインが2023年に改訂されました。そこで、顎関節症の知識をアップデートするために本講演会を企画しました。対面での開催で参加者は自由です。
事前の参加登録は必要ありませんので、興味のある方は会場に直接お越しください。

主催：次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン
「口腔がん・がん口腔支持療法に携わる医療者養成コース」

参加自由

今年度の事業実績 ⑧

学内への事業取り組みの周知 「がんプロ通信」を開設しました

■配信回数

20回、HP上で情報を更新（計20回）



(<https://www.tdc-ganpro.jp/>)

がんプロ通信 (Vol. 17) ▶ 読者レビュー

世木田 貴
To: 東京歯科大学研究部, Bcc: 自分

がんプロ通信 Vol. 17

本メールは文部科学省事業次世代がんプロフェッショナル養成プランに基づき東京歯科大学関係者に配信しています。

がんゲノム医療実証試験会へ参加する方へ
開催日時：2025年1月18日（土）10時00分～12時00分
開催形式：ハイブリッド開催
会場：東京歯科大学M&Dタワー2階共用講義室1

がん看護学教育実証セミナー
開催日時：2025年2月28日（金）14時00分～17時45分
会場：東京歯科大学市川総合病院11階大会議室

申請した面はお手紙をおかけしますが、下記本学ががんプロ事務局にご連絡ください。

東京歯科大学口腔科学センターがんプロ事務局
世木田 貴
sekida@tdc.ac.jp
03-6380-9114

その他本学が企画するイベントは代表東京歯科大学のホームページで公開していますのでそちらも併せてご確認ください。連携校が企画するイベントは大学関係だけでなく本学の職員（市川総合病院も含む）は全て参加可能ですので、興味のある方はご登録をお願いします。

東京歯科大学次世代がんプロホームページ
<https://www.tdc-ganpro.jp/>

東京歯科大学次世代がんプロホームページ
<https://www.tmd.ac.jp/kanshikagaku/kyoukaigakanshi/>

東京歯科大学口腔科学センターがんプロ事務局

がんプロ大学院生の実績報告

論文(4編)

*下線部は受講生

終末期口腔癌患者の転院および看取りに関する臨床的検討

相磯 友里, 石川 早紀, 巽 綾香, 田中 詩織, 関川 翔一, 鈴木 大貴, 片倉 朗, 野村 武史
日本口腔腫瘍学会誌, 36(3): 63-72, 2024

《日本口腔腫瘍学会学会賞を受賞》

The use of cetuximab for oral cancer and adverse events with different treatment regimens: A single - center retrospective study over an 11 - year period

Saki Ishikawa, Taiki Suzuki, Shiori Tanaka, Ayaka Tatsumi, Yuri Aiso, Shoichi Sekikawa, Satoru Ogane, Akira Katakura, Takeshi Nomura
Oral Science International, 22(1):e1251,2025

Clinical efficacy and safety of tegafur, gimeracil, and oteracil potassium (S-1) monotherapy for incurable oral squamous cell carcinoma patients

Shoichi Sekikawa, Ayaka Tatsumi, Saki Ishikawa, Shiori Tanaka, Yuri Aiso, Takayoshi Kikuchi, Taiki Suzuki, Satoru Ogane, Takeshi Nomura, Akira Katakura, Akira Watanabe
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology 2025 In Press

(症例)

Hyalinizing clear cell carcinoma of the base of tongue: A case report with distant metastasis

Chiho Hiraga(Kondo), Saki Ishikawa, Kazuhiko Hashimoto, Taiki Suzuki, Kazumichi Sato, Takeshi Nomura
Oral Science International, 21(3):528-537,2024

学会発表(6編)

・第48回日本頭頸部癌学会 2024年6月20日・21日(アクティシティ浜松)

「口腔扁平上皮癌亜型の臨床的検討: 過去10年間の1次症例について」

石川 早紀, 橋本 和彦, 関川 翔一, 鈴木 大貴, 片倉 朗, 野村 武史 頭頸部癌, 50(2): 129, 2024

・第37回日本口腔診断学会・第34回日本口腔内科学会 合同学術大会 2024年9月28日・29日(松本歯科大学)

「口腔限局症例を含めた分類に基づく多形紅斑の後方視的検討」

小幡 亮太, 三邊 正樹, 稲田 潤一郎, 加藤 悠, 上野 紗璃, 明由 理亜, 森田 奈那, 酒井 克彦, 橋本 和彦, 松浦 信幸, 河野 通良, 野村 武史 プログラム抄録集: 43

「歯性感染症が原因で生じたと考えられた敗血症性肺塞栓症の3例」

江澤 美穂, 平賀 智豊, 稲田 潤一郎, 大村 雄介, 菊地 崇剛, 岡村 将宏, 三邊 正樹, 鈴木 大貴, 酒井 克彦, 松浦 信幸, 野村 武史 プログラム抄録集: 55

「多発性口内炎が初発症状となり診断に至った急性骨髄性白血病の1例」

船橋 桂子, 鈴木 大貴, 松本 公宏, 野村 武史 プログラム抄録集: 59

・第11回日本細胞外小胞学会学術集会 2024年10月28日・29日(京王プラザホテル)

「口腔液中細胞外小胞と非小胞性細胞外粒子の特徴解析」

石川 早紀, 河野 孝斉, 平賀 智豊, 野村 武史, 芝 清隆 プログラム抄録集: 69

・第43回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2025年2月27日・28日(一橋講堂)

「GLIM基準による低栄養が口腔がん患者の予後に与える影響」

相磯 友里, 酒井 克彦, 関川 翔一, 鈴木 大貴, 松浦 信幸, 片倉 朗, 野村 武史 プログラム抄録集: 106

受講者の声

- 口腔がん治療専門医養成コース
- 顎顔面補綴専門医養成コース
- 支持療法専門医養成コース

石川 早紀(口腔がん治療専門医養成コース3年次)

私は総合病院の歯科口腔外科で研修を過ごし、口腔がんの治療における経験や知識の不足を強く実感しました。そのため研修終了後、東京歯科大学大学院で「次世代がん医療を担う多職種人材養成プランコース」に進学しました。実際に進学後は様々な口腔がんの治療に携わり、がん治療そのものだけでなく、様々な有害事象や周術期管理など日々研鑽を積むことができております。

コースワークでは医科研修も充実しており、今まで放射線科、病理検査科、形成外科で研修させていただきました。またコースワークをこなしながら、口腔がん患者の唾液に含まれるエクソソームにフォーカスを当てた基礎研究も行っており、Webでの連携校共通インテンシブコースでは自分のタイミングでがん治療を包括的に学ぶことができ、充実した生活を送っています。

異 綾香(口腔がん治療専門医養成コース3年次)

私は研修期間を経て総合病院での臨床経験を積む中で、患者のQOLを著しく低下させることの多い口腔がんの治療について、より深い知識と技術を習得したいと考え、東京歯科大学大学院の「次世代がん医療を担う多職種人材養成プランコース」へ進学しました。

本プログラムでは、麻酔科、外科、耳鼻咽喉科、病理検査科、放射線科など、がん治療に関連する診療科での研修に加え、関連施設での病理カンファレンスやリモート講義にも参加し、研鑽を積む機会を得ました。これらの多様な研修を通じて、口腔がんの病態

や診断・治療に関する基礎から応用までの幅広い知識を深めるとともに、多角的な視野を養うことができます。

また、コースワークの一環として、免疫組織化学染色を活用した口腔扁平上皮癌における予後予測因子に関する臨床研究にも取り組んでいます。

臨床業務と研究活動の両立の難しさを実感する一方で、大きなやりがいも感じております。今後は、修了までに培った知識や技術を臨床の現場に活かし、口腔がん治療の発展に貢献していきたいと考えています。

相磯 友里(支持療法専門医養成コース3年次)

私は、東京歯科大学市川総合病院で研修し、支持療法専門医養成コース栄養分野に進学しました。支持療法は、がん治療後のQOLの低下に対して、口腔衛生・摂食嚥下・栄養管理を中心に、多職種と連携してがん治療の完遂を目標としてサポートする分野です。他科研修では、チーム医療の中での歯科医師としての役割を学び、様々な視点でがん患者と接することができ、1人1人違う価値観や生き方に触れ、常に患者や家族を中心とした医療を提供できる歯科医師でありたいと考えさせられました。

私は、大学入学時から口腔がん患者の終末期医療

に興味を持ち、本コースに進学することが私の大学時代の目標でした。そして、念願だった終末期に関する論文を投稿することが出来ました。さらに、「終末期口腔癌患者の転院および看取りに関する臨床的検討」と題した論文が学会の最優秀論文賞に認められ、少しですががん医療に貢献することが出来たのだと改めて実感することができました。

臨床を行いながら研究をすることは大変ですが、親身になって丁寧にご指導いただける環境のもと、これからも精進したいと思います。

江澤 美穂(口腔がん治療専門医養成コース1年次)

口腔腫瘍外科学講座大学院生として、臨床技術の向上と研究の深化に努め、専門性の高い歯科医師を目指します。大学院では、外科手技の習得だけでなく、病態の解明や新たな治療法の開発に貢献できるよう、基礎・臨床研究に積極的に取り組みます。特に、がん治療や難治性疾患に関する研究に興味があり、学会発表や論文執筆を通じて成果を発信し、口腔外科領域の発展に寄与したいと考えています。

また、大学院生活では、先輩や指導教員との交流を大切に、チーム医療の一員としての役割を深く理解することも重要だと考えています。国内外の学会や研修にも積極的に参加し、広い視野を持った口腔外科医となることを目標にします。

今後も知識と技術の研鑽を重ね、患者さんにとって最善の治療を提供できる歯科医師を目指して努力していきます。

小幡 亮太(口腔がん治療専門医養成コース1年次)

口腔腫瘍外科学講座の大学院生は臨床系であることから、1年目は主に臨床で研鑽を積みます。具体的には市川総合病院の歯科・口腔外科外来、耳鼻咽喉科、口腔がんセンターでの研修です。研修では抜歯をはじめとする口腔外科処置から、入院患者の一般歯科治療までを経験します。全身疾患を有する患者の処置も担当するため、医科疾患に関する知識や経験を積むことができます。

口腔がんセンターでは手術療法だけでなく、化学療法、放射線療法と口腔がんに関する幅広い分野の治療

を経験できます。また病棟業務にも従事するため、患者の全身的な状態を把握し、病棟管理を経験できます。

耳鼻咽喉科研修では、外来診療、手術ともに耳鼻咽喉科領域の幅広い知識と経験を積まさせていただきました。同じ頭頸部領域でも診療科により、疾患に対する見方や考え方を多面的に捉える経験ができました。

研究では口腔粘膜疾患と口腔学顔面痛の研究班に所属し、学会発表や抄読会などを通して様々な分野に触れることができました。今後もその体験を生かして、自身の研究にも活かしていきたいと考えています。

田中 詩織(口腔がん治療専門医養成コース1年次)

私は、卒業後3年間口腔外科医として診療に従事していく中で、がん治療に興味を持ち、がんに苦しむ患者を自分の手で救いたいと思い本年度より大学院へ進学いたしました。

来年度は国立がん研究センターの頭頸部外科で手術

手技を学びつつ、遺伝子パネルを用いた分子標的治療の最適化に関する研究を行う予定です。

今まで自分が交わることのなかった研究という分野を学んでいけることにワクワクしていますし、より一層勉学に励まなくてはと、身が引き締まる思いでおります。

船橋 桂子(口腔がん治療専門医養成コース1年次)

私のがんプロコースを希望したきっかけは、東京歯科大学市川総合病院での研修期間中に同病院の口腔がんセンターの研修期間を経験したことでした。それまでは自分が口腔癌治療を行うことを全く想像できませんでしたが、口腔がん診療を中心とした施設を経験し先生方や患者さんと深く関わり学ばせて頂いたことが転機となりました。

今後の研究は、歯科にかかわりの深い代表的な歯源性腫瘍であるエナメル上皮腫に関する遺伝子診断・治療に関する研究を行っていきたいと考えています。コー

スワークや研究に関して、教室の先生方がとても親身になり相談に乗ってくださりとてもありがたく感じております。また大学院1年目を過ごし、他科研修や口腔がんセンターでの研修を積ませて頂き口腔以外の領域の解剖を学ぶだけでなく、疾患や対応を学び、その科の手術も研修させていただくことで見識を広げることができていると強く感じています。

大学院期間が4年しかなくとても短いと感じられますが、限られた期間の中でしっかりと学んでいきたいと考えています。

令和6年度のがんプロ事業を終えて



野村 武史

東京歯科大学 口腔腫瘍外科学講座主任教授
東京歯科大学 口腔がんセンター センター長
東京歯科大学 次世代がんプロフェッショナル養成プラン
コーディネーター

令和5年に採択された第4期がんプロ事業ですが、今年度（令和6年）無事開校しました。第4期がんプロの特徴としては、学内の履修コースに加え、学外の研修を充実させた点にあります。

国立がん研究センターや連携大学での短期研修がよいよ次年度から始まります。さらに歯科医師以外に歯科衛生士や他職種に向けてがんと口腔の関連をオンデマンド学習できるよう、連携7大学で、インテンシブコースを開校しました。

今年度の成果で印象に残ったのは、全国がんプロ協議会の顧問で長年がんプロ事業に中心的役割を果たしてきました、松浦成昭先生（大阪国際がんセンター総長）をお迎えし、歯科におけるがんプロ普及のための討論会が開催できたことです。がんプロ事業に歯科医学が関わるための議論が深まったことは大きな成果であったと思います。

次年度も若手育成に力を注いでいきたいと思います。これからもご支援のほどよろしくお願いいたします。

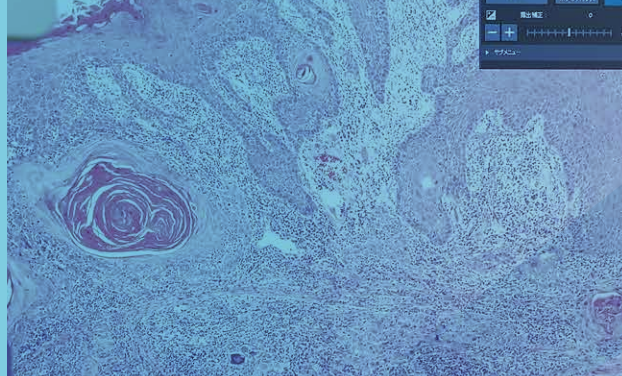
お問い合わせ先

東京歯科大学大学院歯学研究科
次世代のがんプロフェッショナル養成プラン事務局

東京都千代田区神田三崎町 2-9-18

電話：03-6380-9114 mail: sekida@tdc.ac.jp（担当：世木田）

HP: <https://www.tdc-ganpro.jp/>



東京歯科大学大学院歯学研究科
次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン

令和6年度 事業報告書・大学院募集要項

発行日 令和7年3月31日
編集 東京歯科大学大学院歯学研究科
〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町 2-9-18
制作・印刷 株式会社さいころ・プレス

